

【 数 学 】 「 個 々 の 問 題 の 出 題 の 意 図 及 び そ の 正 答 率 」

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点 考え方	知識・理解 表現・処理	県の正答率	学校の正答率	0 25 50 75 100
	大問	小問	通番						
数と式	1	1	1	正の数と負の数の分数を含む加減の計算をすることができる。	○		74.5		
		2	2	正の数と負の数の累乗を含む計算をすることができる。	○		73.6		
		3	3	正の数と負の数の分数を含む除法の計算をすることができる。	○		74.6		
		4	4	正の数と負の数の加法と除法の混じった式の計算をすることができる。	○		77.3		
		5	5	分配法則を使ってかっこをはずし、1次式の計算をすることができる。	○		64.0		
	2	1	6	文字を用いて数量関係を式に表現することについて理解している。		○	79.0		
		2	7	与えられた文字式を具体的な事象と関連付け、その意味を読み取ることができる。	○		70.6		
	3	1	8	等式の性質を使って方程式の変形の仕方を考えることができる。	○		44.3		
		2	9	1次方程式を解くことができる。		○	59.6		
	4	1	10	具体的な事象における数量の関係を正しく把握し、表にまとめることができる。	○		59.4		
			11	具体的な事象における数量の関係を読み取り、方程式を立式することができる。	○		30.7		
		2	12	方程式を解いて、問題の答えを求めることができる。		○	28.2		
	5	1	13	マグネットの数の求め方を図から読み取り、文字式を使って表すことができる。	○		55.7		
		2	14	マグネットの数の求め方を文字式から読み取り、図を使って表すことができる。	○		70.8		
	図形	6	1	15	線対称、点対称な図形の性質を理解している。		○	67.7	
2			16	扇形の中心角の大きさをもとに、その扇形の面積と同じ半径の円の面積の関係を判断することができる。	○		72.4		
7		1	17	円錐の見取図を展開図に置き換えることができる。		○	93.0		
		2	18	円錐の体積を、底面が合同で高さが等しい円柱の体積との関係から選び出すことができる。	○		58.2		
関数	8	1	19	比例のグラフの式を求めることができる。		○	55.5		
			20	比例のグラフから式を求める求め方を説明することができる。	○		36.6		
		2	21	比例定数が正の分数の場合のグラフをかくことができる。		○	57.8		
	9	3	22	釘の本数を直接数えるのではなく、比例の関係をもとに重さをはかって本数を求めることができる。	○		81.4		
		1	23	反比例の関係にある具体的な事象を理解している。		○	44.8		
			24	具体的な事象の関係を表すグラフから、必要な数値を読み取ることができる。		○	75.8		
2	25	具体的な事象の関係を表すグラフから、必要な数値を読み取り、その求め方を説明することができる。	○		58.3				
資料の活用	10	26	測定値の意味を理解し、誤差の範囲を不等号を使って表すことができる。		○	55.1			
	11	1	27	最頻値の意味を理解し、最頻値を求めることができる。		○	36.2		
		2	28	度数分布表をもとに、度数分布多角形をかくことができる。		○	80.9		
3	29	度数分布多角形を比較して、2つの学級の分布の違いをとらえ、説明することができる。	○		68.1				